

市が脱炭素化の模範を示していくべきと考えるが、2030年までに公共施設で使用する電力を100%再生可能エネルギー由来のものへ転換するとする目標の取組状況について伺いたい。

**答** 令和2年に自治体新電力「ながさきサステナエナジー」を設立し、東工場及び西工場からの廃棄物発電や三京町の大型太陽光発電設備などで発電された電力を公共施設へ供給しているが、令和8年の東工場建て替えにより、年間売電電力量が約3倍に増える予定である。

また、市保有の建築物への太陽光発電設備の導入割合を、目標の2030年までに50%以上にする一方で、再エネ率は約5割を超えると推計している。今後はさらに、大型太陽光発電などの導入を計画的に進め、市民、事業者に率先して取り組むことで、環境と経済の好循環につなげていきたい。



ゼロカーボンシティ長崎の実現に向けた取組



公明党  
永尾 ながお

春文 はるふみ



## 常任委員会における審査の主な内容

### 総務委員会

新ナガサキ創造推進費など、令和5年度一般会計補正予算(第5号)を可決

総務費において、新たな政策を強力に推進するため、高度な専門性を有する外部人材を「政策顧問」として任用するための新ナガサキ創造推進費が計上されました。

委員会では、一定の実績がある人材を任用する考えの有無、アクションプランにおける想定スケジュールの妥当性、プロジェクトチームに任せただけではなく全庁的な意思統一を図って取り組んでいく考えについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、部局横断のプロジェクトチームにおいては、中堅職員などを積極的に選任し、次の時代の長崎の在るべき姿となる実行計画をつくってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

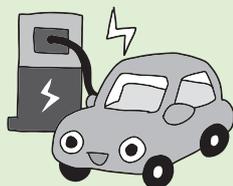
### 環境経済委員会

ゼロカーボンシティ推進事業費補助金など、令和5年度一般会計補正予算(第5号)を可決

衛生費において、市民を対象に太陽光発電設備、蓄電池及び電気自動車の導入を支援するためのゼロカーボンシティ推進事業費補助金が計上されました。

委員会では、電気自動車導入に係る野心的数値目標の達成の見通し、今後耐用年数を迎える太陽光発電設備の処理方法について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、補助金については、一時的なものであることから、今後再生可能エネルギーの導入を恒久化するための仕組みをつくってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



### 教育厚生委員会

学校給食センター整備運営事業(南部地区)など、令和5年度一般会計補正予算(第5号)を可決

教育費において、(仮称)南部学校給食センター整備運営事業について、参加表明を行っていた事業者が応募を辞退したことから、再公募を行うための債務負担行為が計上されました。

委員会では、再公募を行うこととなったことに対する市の認識と、事業費積算に当たっての庁内の連携体制について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、各学校の給食室で給食を作る「自校方式」の継続を求める立場から大型給食センターの建設は認められないなどの反対意見が出されました。一方、リスク管理や競争性の確保の面で不安を感じるため、これまで以上に慎重かつ丁寧に取り組んでほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

### 建設水道委員会

新浄水場の整備計画を策定します

第78号議案「令和5年度長崎市水道事業会計補正予算(第2号)」は、更新時期を迎えた浄水場を抱える長崎市、長与町が共同で行う新浄水場の整備に向けて、必要となる事業計画の策定等に係る予算の補正を行おうとするものです。

委員会では、整備候補地の現況等を把握するために現地調査を行い、その後行われた審査では、本市と長与町における費用負担の考え方、業者の選定に当たり官民連携で実施するDBO方式\*を採用する際のリスク管理の考え方について質すなど内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲現地調査の様子

\*DBO方式…民間ノウハウを活用し、設計・建設と維持管理・運営を包括的に委託する方法